

第1回 第3次石狩市漁業振興計画策定委員会 議事録

日 時：令和3年8月5日（木） 13：30～14：30

場 所：石狩市役所 4階 401会議室

出席者：次のとおり

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
委員長	廣原 正康	○	委 員	清水周一郎	○
副委員長	和田 郁夫	○		鳴海 翔	×
委 員	蛭谷 勝浩	○		木村 誠	○
	伊藤 誠	○		釣本 明雅	×
	藤巻 信三	○		佐藤 公彦	○
	中井寿美子	○		野村 彩夏	○

事務局：石狩市長 加藤 龍幸

企画経済部産業振興担当部長 本間 孝之

企画経済部林業水産課長 相原 真一

企画経済部林業水産課主査 佐藤 光弘

傍聴者：なし

議 事：1 開会

- (1) 委員委嘱状の交付
- (2) 挨拶（石狩市長 加藤 龍幸）
- (3) 委員紹介
- (4) 委員長及び副委員長の選任

2 委員長挨拶

3 提言依頼

4 議題

- (1) 石狩市漁業振興計画について
- (2) 第2次石狩市漁業振興計画の振り返りについて
- (3) 第3次石狩市漁業振興計画の骨子（案）について

5 その他

6 閉会

議事録（要点筆記）

1. 開会

（1）委員委嘱状の交付

- ・机上配付

（2）挨拶（石狩市長 加藤 龍幸）

- ・省略

（3）委員紹介

- ・省略

（4）委員長及び副委員長の選任

【中井委員】

- ・事務局に一任する。

【一同】

- ・異議なし。

【事務局 相原課長】

- ・事務局にて委員長に廣原委員、副委員長に和田委員に就任いただきたい。また、会議録については要点筆記とし会長の確認とさせていただきたい。

【一同】

- ・異議なし。

2. 委員長挨拶

【廣原委員長】

- ・第3次石狩市漁業振興計画が有効かつ実効性のある有意義な計画となりますよう委員の皆様の貴重なご意見を賜りながら取り進めてまいりたい。

3. 提言依頼

【石狩市長 加藤 龍幸】

- ・第3次石狩市漁業振興計画の策定について、第3次石狩市漁業振興計画策定委員会設置要綱第2条の規定に基づき諮問する。

（諮問書の手交）

4. 議題

(1) 石狩市漁業振興計画の位置付けと第2次計画の振り返りについて

【事務局 佐藤主査】

(資料説明)

- ・本計画は石狩市の水産業を取り巻く環境の変化、漁業生産量の減少や魚価の低迷に伴う収益性の悪化、漁業就業者の高齢化や後継者不足といった多くの課題解決のため、漁場環境や漁場生産基盤の整備など限りある水産資源を守り育てる資源管理型栽培漁業を基本として、より一層「作り育てる」漁業に取り組み、漁家経営安定化や漁業の近代化、生産性の向上を図るための指針として平成23年3月に策定されました。
- ・その後、前計画を基本に時点修正を加えながら、当市の産業振興に関する4計画「農業振興計画」「地場企業等活性化計画」「観光振興計画」との整合性を図るため、共通のテーマを設定し第2次石狩市漁業振興計画が平成29年から令和3年までの6年間の計画として策定されました。
- ・本年が第2次計画の最終年にあたることから、令和4年度以降の新たな計画を策定するものです。
- ・策定スケジュールは、第2回策定委員会を10月中旬、第3回を11月下旬に予定しています。
- ・第3回策定委員会で原案を審議いただき、12月の総務常任委員会で報告するとともに、年明けにパブリックコメントを1か月間実施する予定です。
- ・これらの過程を踏まえ、2月に開催する第4回目の策定委員会において最終案を審議いただき、今年度末までに第3次計画を策定する予定です。

(2) 第2次石狩市漁業振興計画の振り返りについて

【事務局 佐藤主査】

(資料説明)

第2次石狩市漁業振興計画の振り返りについて説明。

- ・本計画は、漁業振興対策として7つの項目からなる体系で構成されています。
- ・施策の体系は、1つくり育てる漁業の推進として9項目、2漁場環境の保全として5項目、3漁港施設の整備、改善として2項目、4地元水産物の消費対策として4項目、5漁港漁村の活性化として4項目、6漁業就業者の確保として6項目、7出荷体制の整備、改善として2項目の取り組みを掲げて各種事業に取り組んできました。
- ・主な中身としては
1つくり育てる漁業の推進

サケ、ニシン、ナマコ、ハタハタの増殖及び放流について記載。サケについては厚田・浜益の二次飼育施設の運用による適時放流に努めているほか日本海増協に対し市及び石狩湾漁協から負担金を支出しています。

ニシンについては網目、漁期の自主規制による資源管理と、種苗放流を継続して実施することで近年は主要魚種として安定した漁獲となっています。

ナマコについて、令和元年度より浜益地区においての種苗の生産試験を開始しています。

ハタハタについては、厚田地区でふ化放流事業を実施していますが漁獲量が年によって大きく変動しています。また、平成27年度より北海道による産卵場の造成として厚田区小谷地区にブロック

を設置しています。

養殖事業として令和2年度より浜益地区でカキの試験養殖が開始され販売もされました。

2 漁場環境の保全

各漁港に防犯カメラを設置し防犯体制を整えています。

トド対策として漁協により駆除活動を継続するとともに、北海道市長会を通じて国に対して新たな補償制度の創設に向けた要請活動を継続して実施しています。

3 漁場漁港整備の改善

例北海道に対して漁港の改修要望を継続して行っています。

4 地元水産物の消費対策

ニシンの単価向上を図るため船上活〆処理による出荷を行なっています。

販路拡大として JA いしかりとれのさとや道の駅においてホタテや水産加工品を販売しました。令和2年度より浜益区青年部によるインターネット販売も実施しています

5 漁港漁村の活性化

各地区で朝市を開催しており、厚田地区においては定期的にお魚感謝デーやふれあい鍋を開催して集客に努めています。最近は新型コロナウイルスの影響もあり実施はされていません。

6 漁業就業者の確保

新規就業者受入れについて、北海道漁業就業支援協議会主催による漁業就業支援フェアに参加し今まで11名が研修に参加しています。また、漁業後継者の育成支援のため平成17年制定の石狩市農漁業担い手支援要綱により、研修参加等の費用の助成や、新規就業者に対する家賃助成制度を整備しています。

7 出荷対策整備改善

石狩地区、厚田地区に、自動施氷機を整備し出荷の効率化を図りました。

浜益地区の製氷施設の更新が課題となっています。

・ 廣原委員長

ただいまの説明についてご意見ご質問等ございましたらマイクを使ってお願いします。

・ 藤巻委員

密漁対策と書いてあるが、看板設置だけで効果があるのだろうか。何か他の対策を考えてはどうか。

・ 廣原委員長

第3次計画に盛り込むことを検討していく形になると思われます。ほかにご意見はございませんか。

・ 和田委員

本計画策定には私も参加してきたが、振り返りの報告を聞いていて実行性が伴った項目というのが少ないと感じる。次期計画には実行性を意識した中で進めていくべきと考えます。

・廣原委員長

ありがとうございます。

蛸谷委員の方から日本海側の取組、今回の振り返りについて何かご意見を伺います。

・蛸谷委員

振り返りの部分について評価検証が少し足りないと感じます。

市役所としての計画、または漁協との連携などもあるかと思いますが次期の計画策定に当たっては振り返というのが重要になると思います。

・廣原委員長

項目が多い中での振り返りということで一般的な話が多くなると思います。

ありがとうございます。

水産指導所の伊藤所長からもお願いします。

・伊藤委員

これからは特に加工品の開発や販路開拓の部分というのは、6次産業化の観点からみても非常に重要なポイントになるのではないかと思います。振り返りの中で、(4)の販路の多様化とPRという部分もありますが、インターネット販売や直接出荷などに取り組んでいくというような部分をどのような形で計画に盛り込んでいくかが重要と考えます。

・廣原委員長

ありがとうございます。

・藤巻委員

ナマコ増殖は2～3年前から実施しているが、漁業者からの話であって市からの助言はなかった。また、実施しているのは浜益地区のみで他地区では実施していないのはどうなのか。

漂着ごみについて漁業者が集めてもなかなか処理してもらえないのはなぜなのか。

住宅について、平成23年に農漁業者専用住宅3戸整備と書いてあるが、その後整備はされておらず、新規の従事者については雇用主が提供している状況である。それが本来の姿かもしれないが、漁業者が減って労働者も減っている中で市としても多少の協力をお願いしたい。

Iターンについては計画に盛り込まないのか。

・廣原委員長

就業の件、いろいろと難しいところがあるかもしれませんが。北海道水産会でも就労支援の動きはあると思いますので。

・藤巻委員

あれは漁業者と就業希望者がマッチングしなければならない。

・ 廣原委員長

その辺は市と協力できればなと考えています。

中井さん意見ありますか。

・ 中井委員

厚田地区でのギンナンソウの密漁について、警察もパトロールしてはいるが密漁はあり、また、密漁者と漁業者の区別もつきにくく対応に苦慮している。

厚田の朝市について新型コロナウイルス感染拡大の状況もあり盛大なイベントは実施が難しいが、小さなことでもできることをやらないでいると活動自体がなくなる恐れがあると思います。

・ 廣原委員長

コロナ禍での動きに制約があつて難しいところがあるけれど、コロナ禍でもできることはあると思います。今年で収束するならいいのですが、長く影響が続くようであれば第3次計画に対策を入れた方がいいと思います。

・ 廣原委員長

清水さん、一言二言お願いします。

・ 清水委員

石狩川からの流れの影響で海水浴場の砂が削られて港に入ってきて港内が浅くなっている状態。

シジミの増殖についても川をまっすぐにするから、種苗を放流しても定着していない状況。

漁場整備として何か対策は出来ないものか（シールド、矢板等）

・ 廣原委員長

漁場整備も必要では、ということですね。

・ 清水委員

そうですね。

・ 廣原委員長

それは北海道開発局との関係になると思いますが、第3次に漁場整備も入れるということになると北海道開発局との対応も必要になります。

漁港の浚渫については引き続き要望することが必要。

・ 清水委員

浚渫は毎回多分行っていますよね、和田さん。

・和田委員

石狩湾新港については石狩湾新港管理組合が数年に1度は実施しています。漁港に関しては濃昼、古潭、浜益については定期的に実施していますし、緊急に要望して実施することもあります。

・廣原委員長

ありがとうございます。厚田の木村さんお願いします。

・木村委員

漁港の浚渫について、今年僕が実際に座礁して大変な目に遭ったので回数を増やすなどの対応をお願いしたい。

コロナの影響なのか、漁港内の釣り人が何倍も増えていてトラブルになることもある。また明らかに行ってはいけない灯台の先の方などで漁船の航路をふさぐような形で釣りをしているので何か対応は出来ないのか。また、ごみも増えていて気が付けばある程度は片づけてはいるが何とかならないのか。

・廣原委員長

ありがとうございます。漁港の問題は皆さんあるんだなと思います。流通の関係、地場産品の関係で佐藤水産の佐藤さんお願いします。

・佐藤委員

いろいろ対策を打っている中で、実効性の部分について疑問が残ります。企業ではPDCAサイクルにより改善を図る取り組みをしていますが、説明では表面上の対策で終わっているだけという受取りもできます。例えば船上活〆処理によるニシンの単価の向上を図ることについて、出荷実績13トンと記載があるが、活〆により単価がどのように上がったのかなどもっと具体的なところまで落とし込んでいろいろ対策を打ったほうがいいのではないかと感じました。

我々としても地産地消を重視しながら加工品を制作して販売しているが、最近の事例では厚田のマメイカで何かできないかと声がかかり商品化して販売しました。市場で鮮魚として流通しても値が付かないものは加工品として販売するなど我々はノウハウ持っているので相談していただければより付加価値を高めて魚価のアップにも少しで協力できるのではと考えます。

今家庭ではなかなか魚を買って処理しなくなっている傾向にあると思いますので加工して販売することで魚価の向上にもつながればと感じています。

・廣原委員長

ありがとうございます。続きまして野村さんの方からふるさと納税の方もやられていることありますし、鮭の「寒塩引」もやっていると伺っていますのでお願いしたいと思います。

・野村委員

石狩観光協会に勤めており、ふるさと納税の返礼品の選定などの一部業務を石狩市から受託しています。石狩の海産物はふるさと納税の中でも人気が高く、2020年の実績では、ふるさと納税全体で

1万3000件に対し、海産物関係は1万件を超えており、佐藤水産の鮭の加工品や冷凍の石狩鍋など手軽に食べられるものが人気となっています。

ふるさと納税を活用することで返礼品として選定した商品のPRや、ふるさと納税利用者が返礼品を再度購入する流れになれば良いと考えています。

今は魚をさばいて食べることが減っているので、加工品にニーズがあると思う。

観光協会でも石狩市観光センターやハマナスの丘ビジターセンターで売店運営も行なっていますが、そこで販売する際も生物や日持ちのしない商品は取扱いにくいので日持ちのする加工品などがあればと日々考えています。

観光協会では鮭の加工品として「寒塩引」という商品を毎年50本程度製造しています。もともとは石狩市内の水産加工会社や一般の家庭で作られていたもので、鮭の食文化を復活させようと2013年に研究会が発足し、平成26年ごろから販売を開始していますが自社製品も活用しつつ石狩の漁業を盛り立てていければなと思っています。

・廣原委員長

ありがとうございます。他に何かございませんか。

・和田委員

野村さんに質問ですが、ふるさと納税1万3000件のうちの約1万件が水産物だと聞きました。ほとんどが加工品だと思いますが多い順で何点か紹介いただけないでしょうか。

・野村委員

上位は佐藤水産のサケルイベ漬けや、サケルイベ漬けとセットになった商品が圧倒的です。年末にはおせち関係で佐藤水産の海鮮おせちも人気があります。また、定期便というのもあり1回きりで終わるのではなく、ひと月に一品ずつ佐藤水産の加工品が届くプランも人気があります。

・和田委員

魚の種類からいったら、もう殆どが鮭っていう捉え方でいいのですね。

・野村委員

現状では鮭がメインですが、もともと鮭関連の製品が多いという事もあると思います。その他上位では酢だこも人気がありますし、漁組に協力いただいて活ニシンも取扱っていますが、ふるさと納税の難しいところで、お客様の指定に沿って発送して届けていますが、お客様の急な都合で受け取れない場合もありますので、危険回避の意味でも冷蔵・冷凍が可能な加工品は強いと思います。

・和田委員

今後、食育や魚食普及というのは我々が主体となりいろいろ工夫していかなければと思っています。

石狩湾産の魚は種類が多いが石狩の魚としての認知度が低く、全国レベルでいうと石狩市よりも石狩鍋の方が認知度は高いと思っています。

個人的には魚を丸のまま買って処理して食べてもらいたいという思いもありますが、一般家庭では生ゴミ等の問題もあり加工品の方が重宝されるのは理解できます。

魚食普及には魚を食べてもらうことが重要と考えていますので、料理教室などを活用しながら魚に触れる機会を増やすことも重要ではと考えています。

・ 廣原委員長

ありがとうございます。計画の振り返りについて何かあればお願いします。無ければ次に進みたいと思います。

議題 2、第 3 次石狩市漁業振興計画の骨子とアンケートの内容について事務局からお願いします。

・ 相原課長

第 3 次漁業振興計画の基本方針についてですが、第 2 次計画の 67 ページをご覧ください。第 2 次計画についての基本方針が示されていますが、これを元に第 3 次計画も考えていきたいと思っています。施策の体系については、振り返りで説明をした 7 項目を基本にしたいと考えています。小項目も含めて第 2 次計画の振り返りを踏まえながら、今後実施する漁業者アンケートの分析等を反映、整理して次の策定委員会で素案をお示しできればと思っています。

別添でアンケートの質問項目の案を示しておりますが、質問項目についてはこれまで 2 回行っているアンケート内容となっており、この内容を継承しながら項目の追加などについて検討したいと思います。サブタイトルにある「持続可能で魅力ある漁業を目指して」ということを意識しながら石狩市の水産物の魅力向上や収入増、漁業の繁栄への取り組みなどの項目を追加したいと考えています。

計画期間については、産業振興に関する 4 計画と足並みをそろえて 10 年間と考えており、状況の変化を見ながら必要に応じた見直しを行いたいと考えています。

計画目標について、計画のサブタイトルである「持続可能で魅力ある漁業を目指して」という文言については計画の意義を端的に表していると考えており継続したいと思っておりますが、文言や表現を含めて意見を頂ければと思います。

目標値については、これまでの計画では漁業生産額が数値として示されています。第 2 次計画では平成 33 年度（令和 3 年度）に漁業生産額 21 億円と設定していました。

第 3 次計画の設定目標について、引き続き漁業生産額を使用するのかどうかについてアンケート結果等を踏まえて確認したいと思います。

・ 廣原委員長

第 3 次漁業振興計画の骨子、計画期間について説明がありましたが何かご意見はありませんか。

・ 和田委員

確認ですけど、アンケートの設問 7 番と 9 番がないがこれは今気にしなくていいですか。

・ 相原課長

前回のアンケートのままの部分が残ってしまい、数字の並びが変わっていますので修正します。

・和田委員

計画目標は単純に言ったら石狩湾漁協の漁業生産額が目標に設定されているのですね。

・相原課長

第1次、第2次計画ではこのように設定されていたので、これを継承するのか、違う形のほうがいいのかも含めて、どうしたら良いかと思っています。

・廣原委員長

第1次で18億、第2次で21億となっておりますので、現状を鑑みながら数値の設定を委員会の皆様の意見をいただきながら決定していきたいと思います。

・蛭谷委員

計画期間ですけども10年ということで、産業振興4計画で統一ということですが、情勢の変化に応じて見直の考えはありますか。10年間の計画というのはいささか長いと思いますが、毎年情勢変化を踏まえて変更されていくのか、どんな形になっているのか考えがあればお願いします。

・相原課長

具体的に状況変化を含めてこんなときに修正をとという案は持ち合わせていませんが、これまでの計画を見た中でも、数字的な目標や、文章表現を含めてそれほど大きく変わる部分は少ないと思っています。大きく状況が変わったときには変更が必要と考えています。

・廣原委員長

第3次10年間のいずれかの時点でブラッシュアップを考えているという事です。

・相原課長

中間年で5年程度かと思いますが、内容の見直し及び確認をするべきかと思っています。

・廣原委員長

計画期間は10年間で、5年目に見直しをかけるという理解でよろしいですね。

・相原課長

5年を目途に見直しが必要かどうかも含めて検証していくということで進めたいと思います。

・蛭谷委員

ここに掲載する資料も10年間同じままというのはどうかと思います。例えば、後継者の問題だとかそれがそのまま10年間残っていくと考えたとき、資料については順次更新する形も考えた方がよいかと思います。

- ・相原課長

承知しました。

- ・廣原委員長

具体的に何年という事はないですが、ある程度短いスパンで資料の修正を進めて頂きたいと思います。アンケートと計画目標について意見がありましたら8月20日を目途にお知らせ願います。最終的な設問項目については事務局と私の方に一任いただければと思いますので了承いただけますか。

異議なしの声

- ・廣原委員長

それではその様に進めたいと思います。

本日用意をされた議題は以上ですが、全体を通してご意見ご質問等があればお願いいたします。

- ・伊藤委員

この計画を達成するための予算的なものはどれぐらいあるのでしょうか。

- ・廣原委員長

予算的なことについて何か考えていますか。

- ・相原課長

計画を進めるための専用の予算については用意しておりませんが、基本は現在取り組んでいる漁業振興施策を展開する中で計画に載っていることの実現に向けて反映させることになると思います。

- ・伊藤委員

例えば新たなインフラ整備など既存にないことをやろうとした場合は当てはまる部分はないと思いますが、既存のものの中でやっていくということなののでしょうか。

- ・相原課長

どの時期にできるかということも当然出てくるとは思いますが、そういうことを含めて予算化に向けた働きかけは必要だと考えています。

- ・廣原委員長

ありがとうございます。

これは言っておきたいという事があればお願いしたいと思いますが、なければある程度まとまった次回という事であれば第1回の策定委員会を閉じたいと思います。

その他で事務局の方から何かありましたらお願いします。

・相原課長

その他については特に用意しておりませんが、第3次の漁業振興計画の策定については継続案件として、今後の策定委員会でご審議いただきたいと思います。今後の策定委員会のスケジュールについてですが、アンケートの実施及び分析を経て、10月の中旬ごろの開催を予定しております。

事務連絡ですが、本日の会議出席にかかります謝金および交通費の支給の関係です。所定の金額を、振り込みをしたいと考えておりますが、現在お支払いに際しましてマイナンバーの登録ということが必要になりますので、お手元に配布されていますマイナンバーの提供について必要事項を記載の上事務局までのご提出をお願いしたいと思います。以上です。

・廣原委員長

ありがとうございました。

・中井委員

会議の資料を会議の何日か前に頂けるとあらかじめ目を通せるので。これを見ながらですと説明を受けても何を質問したらいいか把握できないのでよろしくお願いします。

・相原課長

大変申し訳ありません。事務方の手間取りにより当日配布になってしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。次回以降あらかじめ皆様のお手元の方に早めに渡すようにいたします。大変申し訳ありませんでした。

・廣原委員長

ほかに、こうしてほしいよってということがあればお受けします。

無いようですので、以上をもちまして第1回第3次石狩市漁業振興計画策定委員会を閉会いたします。長時間にわたりご苦労様でした。

令和 3年 9月17

日 議事録確認

第3次石狩市漁業振興計画策定委員会

委員長 廣 原 正 康